

私がビッチになっただのはどう考えても
弟が悪い!!



成人向け
FOR ADULT

私がビッチになっただけで
弟が悪い!



成人向け
FOR ADULT

目次

喪 05 P モテないし弟の彼女になつてやる

ラヂヲヘッド

喪 18 P モテないしキメアングルを模索する

浜原義雄

喪 19 P モテないしズリネタ提供だけする

文・神谷涼 絵・ラヂヲヘッド

喪 27 P モテないし過去を振り返る

すたーきー

喪 31 P モテないし弟に調教される

こなむし

喪 35 P モテないしくぱあする

星野小鳩

喪 39 P モテないし弟で処女全部喪失する

暁勝家

喪 42 P モテないしピアス開ける

ちもさく

喪 44 P もこつちがフェラ中エロアピ目線キメてくる

のはどう考えてもウザキモ可愛い

夕餉

前書き

こんぬつは、ラヂヲヘッドですよ。
今回はいつもの反省を踏まえ、メ切
2日前に前書き書いてます。いつも
15分前とかだからね……

さて、見てお分かりの通り、今回は
「私がモテないのはどう考えても
お前が悪い！」本です。

昨年一冊目となるふたなり本「私が
モテないのはどう考えてもコイツが
悪い！」を出してから、

これで三冊目となります。同じ作品
で一年間で3冊パロ本を出すのは初
めてかもしれない。
そして今回はいつもと大きな違いが
あります。そう、ラヂヲヘッドがふた
なりを、そして巨根を描いておりま
せん。

しかしその分、いつもの“ふたなり
や巨根では出しづらい、原作「私モテ」
の空気を感ぜられるようなエロを描
くことに力を入れました。実のところ
抱き枕製作に押され十分な時間が取れ
なかつたため、まだまだ掘り下げられ
たとはいえないのですが、クズで喪女
な姉・智子とんだかんだ言いつつ優
しい弟・智貴の姉弟恋愛を楽しんで頂
ければ幸いです。

2013.8.4
ラヂヲヘッド

姉が親から頼まれた
という弟の願書を出し忘れた



わびのつもりが
何だか知らんが
俺の性の悩みを
解決するとうい

学校でいつも
こういう格好して
やったりやられたりの
毎を送ってるから

じゃあ性的問題
とかある?
解決してあげるよ

お姉ちゃん
黙ってたけど
実はヤリマンだし



実はヤリマン
だから
気にするなと

だから
そうした

喪3.5X:モテないし弟の彼女になってやる





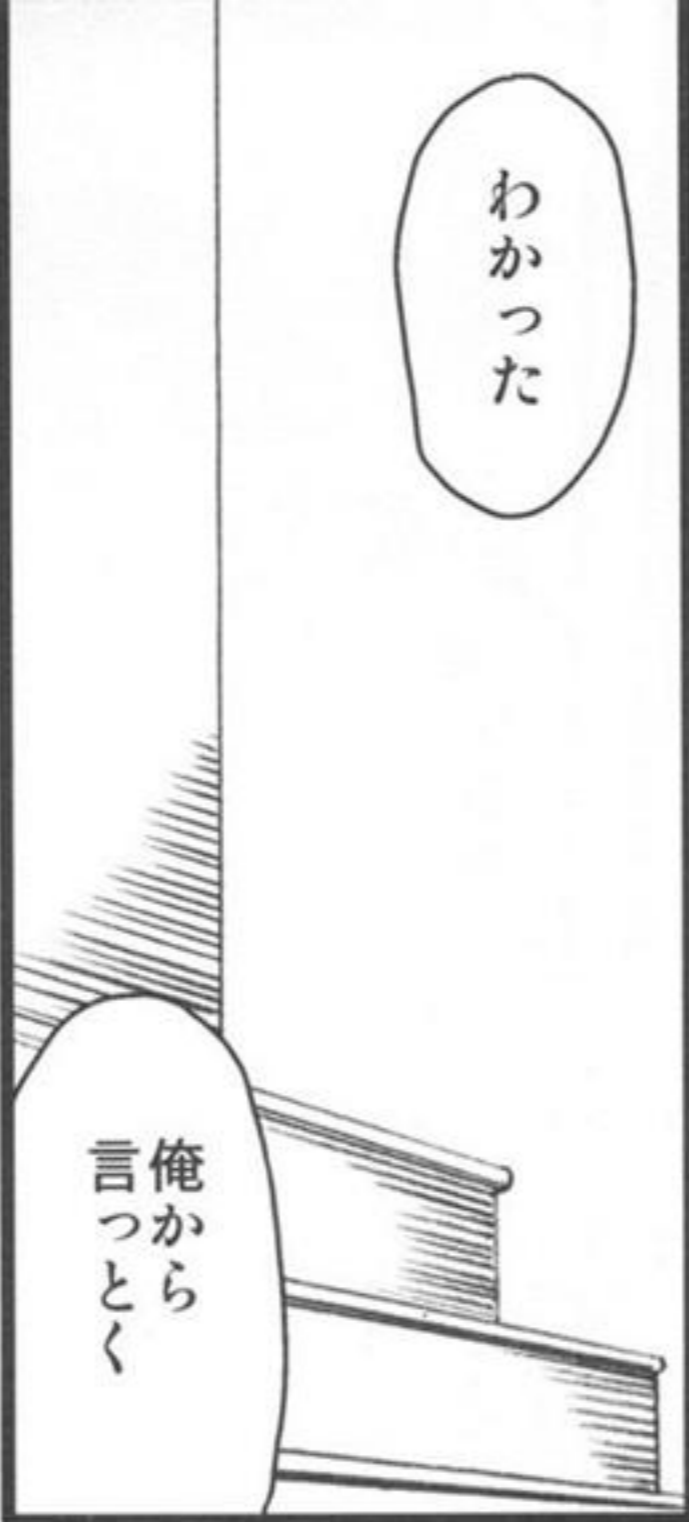
智子!

あんまり二階で
ドタドタしないで



……

ちよっと
智子!?



わかった

俺から
言っとく



まったく
もう

返事もしないで
あの子は……



えっ何何?
どうなってんの
これ!?

びびり

実はヤリマンだし
じゃねーぞ
くそ……



!?

!?

えっあれ?
これって
もしかして……

性の問題解決?
学校じゃ
ヤリマン?

ガッ



俺だって男だぞ
ナメやがって……

言ったことの
責任はとって
もらうからな



乙女ゲーの
ヘタレ逆ギレ
レイブ展開と
同じだコレ!



おい
さっさと
脱げよ…っ

性処理
するんだらうが！

え？
あっうん

へへへ…？

どっ…
どうしよう！
どうしよう！

キレイなヘタレの
恐ろしさは乙女ゲーで
身にしみてるのに



たかが第一匹
オトすぐらい

乙女
ゲーム

私の女子力を
もってすれば…



いっそ
力づくで…

いくらだ
いくらだ
欲しいんだ！

ダメだ…
勝てるビジョンが
浮かばない！！



待て、思い出せ
これまで攻略してきた
無数の乙女ゲーを！

私には童貞を
遥かに超える
経験値がある



うわああ!?
グロイ! キモイ!!
くさい!?



モザイクかかっていない
とこんななのかよ!!
何これピンクの
エイリアン!?

ええ〜と...
ビースト〜ジク...



早くしろよ



あっそうか
これアレだ

チンポには
勝てなかつたよ...
ってやつだ...



やっぱ臭い!!
あとなんか
ぺとぺとする



でも この匂いと
肌触り...慣れると
なんだかちよつと
クセになるな...

バカ弟が!
姉の顔にチンポ
擦りつけて
何が楽しいんだ!







え…
ちよ…おまつ
これっ!?

ぎい



これだけ
濡れれば…

とろ…

よし…



おい…
挿れるぞ!

あひゆ?

おまつ



おまつ

おまつ

おまつ

おまつ

おまつ

あつやっべー
ついにきたわー



これ
マジだわー



処女喪失
きたわー

ってゆーか
これどつから
見てもセックス
ですわ



私のバージン
弟に奪われちゃってる
わあ

男の部屋



男の
ベッドの上...

男の
腕の下...

あれ...今私
モテてる!!!

モテてる!!
モテてるよ!!!

モテ...つて痛え!!
現実逃避失敗!!



ごんなの全然
だいたいだごとど
ねーじ!?

これいつが
これじゃな...



おい
大丈夫か?
くそっ!
もつと動き
てーけど...



はあ
はっ?
はあ



しばらく
じつとしてて
やるから

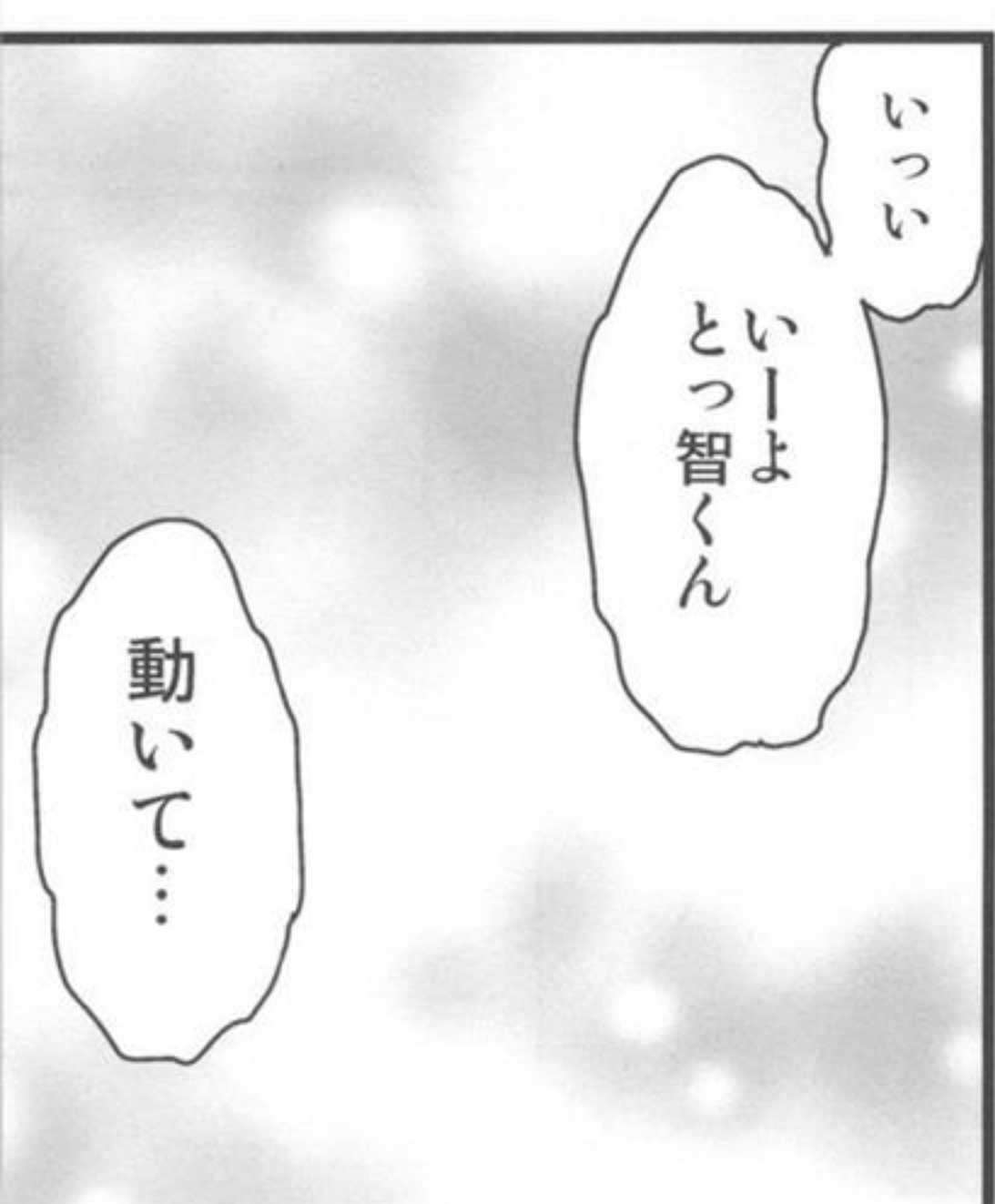
あーまあ
あれだ
ムリすんな

危ないの毛
なんだが...

!?



ぼす



いっ
いっ
とつ智くん

動いて...



はあ
はあ
はあ
ふー!



な...
なんだよ
おっ...
弟のくせに
生意気だぞ...
みる...







たぬもちい
出しこえっ♡

おねーちゃん
中っ♡



あつこれ



!?

やうう

ねーちゃんっ…!!

がぼ



はあ…っ

はあ…

はあっ

ファーストキスやん…

—数カ月後

キーコング
カーン

なんだよ…
こんなところまで
連れ出して

学校じゃ声かけん
なつただら

い…いいだろ
別に…

私はお前の姉で
か…彼女なんだぞ！

お姉さん

他の^{メスブタ}女生徒どもに
気を移さないように
学校でも毎日抜いて
やんよ♡

はあっ!?

私が
ビッチになったのは
どう考えても弟^{オマエ}が悪い♡

あ、これマカン
やっや

自己ベストアングルと
キメポーズの研究

いや顔さえ隠せば
私だって美人なんだ!!

女神謳うんなら
この程度...!!

...その辺にしとけ
見てらんねー

モテないしズリネタ提供だけする

作・神谷涼

(え……これ、どういう状況?)

荒い呼吸の音、ベッドがギシギシと軋む音。

(……ギシアン音が床下から聞こえてくる悪夢で目を覚ましたはずが……ギシアン言っていたのが私のベッドだった件。あと、これ……ストーリーとかじゃなくて、あいつ……だよな)

顔までは見えないが……弟の智貴に間違いない。なんとなくまずそうな予感を感じて、目を覚まして眠ったふりをしてしまう。

「はあ……はあ、な、なんでこんな格好で……寝てんだよっ!」

(え……?)

己の今日の行動を回想する。

(ええっと……机に向かって……途中でダルくなって……声オナして……フイーバーしたからマラソンして……ええっと……あれ? そのまま寝た? ヘッドホンは外してるよな? 明かりはつけたまま……パンツ……はいたっけ?)

「下半身ハダカで、股開いて寝やがってっ……」

(パ、パンツはいてねー……!)

下半身裸(靴下あり)で大股開き、仰向けで寝てしまっていたのだ。

そして開いた脚の間を弟が覗き込みながら自慰の最中。目を覚ますには最悪のタイミングである。

「ひ、貧弱な体のクセに股の毛ばっかり濃いし……尻の穴まで丸見えじゃねーかっ」

(ええええええ……や、ヤバイ。ヤバイ。ヤバイ。弟にアナルまで見

られてる! え? ちょ、ちょっと待て。あいつもしかして、あたしの股覗いてオナニーしてるのか?)

「く、くそ、初めて見る大股開きが……こいつ……なんて……」
ギシギシとベッドがきししみ、ぬちゃぬちゃと何かを擦る音。明らかなオナニー音。

そして、生暖かい息がむわりと智子の股間に浴びせられる。

智子の濃い陰毛が、ゆらりとそよいだ

(ちよっ、息あたって! 私のデリケートゾーンに息あたって! 顔近すぎ! し、しかも明らかにオナニーしてるだろこいつ……)

弟のオナニー音に、まだ見ぬ肉棒を妄想してその扱きぶりを思い浮かべてしまう。

智子の呼吸が睡眠音にしては荒くなる。

(や、やべ……あ、相手がアイツだっと思うと余計興奮して……今、マシ汁垂らしたら、さすがにおきてるってバレるよな……)

つ。ふうつ。

(ひうっ!)

無遠慮に、指が膣内に浅く入る。

どろおっ……と、智子の膣内から濃くて生臭い、いやらしい粘液があふれ出した。

「ぬ、濡れてる……さっきから息荒いし……どんな夢見てんだ?」

弟の指がぬちゃぬちゃと、姉の股間を無遠慮に弄る。

(っ……や、やば、まさか弟の指で処女喪失ってことはないよな? 通販で買ったバイブで喪失するよりはマシかもしれないけど……)

フェラ専となったバイブ。

今は見えていない弟の顔。

まだ見ぬイケメンの肉棒。

荒々しく貫かれる処女膜。

様々なイメージが走馬灯のように智子の脳裏を駆け巡る。



結局、智子は……。

「んっ！」

「や、やば、起きたか？」

しかし身じろぎのみで、寝たままは続ける。

これは、智子の乙女回路的にも期待してしまおう状況なのだ。

「……………」

「……………」

「……………」

「……………だいたいようぶ、か……………ねーちゃんのマンコの汁……………」

「……………」

（うおっ、私のマン汁、チンポに塗りつけてるのか……………はあはあ、弟とはいえリアルチンポに私のマンコから出たのが……………か、間接セックス……………だよな）

勝手な妄想さえあれば燃え上がれるのが智子だ。

状況を忘れて脳裏が桃色になり、弟……………ではない妄想上のイケメンと

のセックス妄想で頭の中が埋まってゆく……………が。

弟の声が現実引き戻す。

「はーっ……………はあっ、はじめから、濡れてるし……………っ、もうちよっとな濡れても、気づかないよ、な？」

（え？ か、顔近づいてる！？ も、もうちよっとな濡れるって何？）

ぬちやつ、と。

何かぬるぬるとした感触が智子の股間を襲った。

（ひうっ！）

何とか声を抑えたものの、脚が少しひくりと震えてしまう。

その反応に感触が離れ、智子の様子を窺っている。

「……………」

（や、やべっ、寝てるふり、寝てるふり……………き、期待してるんじゃない

ぞ……………ここでこいつの弱味を握るほど、私は非道な姉じゃないからな……………気にしないで、やっていいぞ……………）

内心でよくわからない言い訳をしながら、ドキドキと動悸を高めながら待つ。

「起きて……………ないな……………」

ぬるっ。

（ほおっ）

ぬちやつ。

（ふひいっ）

れるっ、れるっ。

（んへっ、んへっ）

顔をこわばらせて何とか顔に出すまいと抑えながら。内心でよがり、のけぞってしまおう。

ようやく、智子にも何をされているのかわかった。

弟、智貴はこともあるうに姉である智子の股間を、一心不乱に嘗め回しているのだ。

そしてその舌は遠慮なく、いつも智子が遠慮がちにしか弄っていない

場所も乱暴に舐めてくる。

やがて濡れた弟の舌は、智子の大きめのクリトリスも……………。

舐めた。

ぞぞぞぞぞぞぞぞぞぞぞぞぞぞぞ。

（へひええええええええええええ）

ごふっ、と生臭い愛液が腔奥から溢れ、智子はたまらず絶頂した。

智貴にすれば、軽く舐めてみただけだろう。

しかし。

過敏な場所への舌の刺激は、濡れた無数の突起がついたブラシで擦り上げられるようなものであり。耳増とはいえ、臆病さゆえに拙いオナニーしか知らない智子には許容量を超えた快楽だった。

もし、智貴が落ち着いていて、また女性経験もあれば……この時点で、姉の絶頂と狸寝入りは気づいただろう。しかし、智貴自身が童貞であり、性経験もないため……女性の絶頂などわかるはずもなく。

はつきり発情した呼吸で顔を赤くする姉にも、気づかずに……いや、目覚めてはいないと言い聞かせて、調子に乗ったように舐め続ける。

ぴちやぴちや……。

(ちよ、ちよとつ)

じゅるるる……ぬちゅっ、れろおっ。

(ま、まて、イツたから、イツたから！)

ぺちやっ、ずにゆうるる……。

(んひっ、な、なかにはいつて！)

気の済むまで、射精するまで、弟の舌に蹂躪されてしまう。

んっ、んっ、ちゅっ、ちゅっ、れろっ。

(んひっ、マンコにキスっ……えひいっ)

ぬちゅ、ぬちゅぬちゅ、にちゅっ。

(あへっ、マンコっ、舌はいつてるっ！)

れるっ、にゅちゅりにゅちゅり。

(か、かきませ……おほおお！)

そして時折不意をつくように。

ぞぞぞぞぞぞぞぞぞぞぞぞ

(んへええええええええええ！)

クリトリスを舐められては悶絶させられる。

脚は軽く痙攣し、オナニーでは考えられないほどの連続絶頂。

己の指と違い、達しても止まってはくれず……延々と攻められては次の絶頂に追い込まれてしまうのだ。

しかも童貞のクンニは乱暴に嘗め回すばかりでなく。

ずじゅっ、ずじゅずずずずず……！

(す、吸ってる、マン汁吸われてるっ！)

んふー、んー、ふー、すー……。

(に、匂いっ、マン臭かいでるのか？)

あむっ……はむ、はむっ……ふーっ。

(マンビラひっば……っ、あっ、ふあ)

んっ、んっ、んふーっ、ふすーっ。

(マ、マン毛に頬ずりするなよおっ)

れるれるれる……。

(そっ、そっちアナルっ)

思春期の童貞が女の股に抱くものをぶつけながら……この貴重な状況に、弟……智貴自身が我慢し、精液を溜め込み射精を我慢していたのだらう。

童貞としては長めの時間を耐えて、智貴は射精した。

「っ、あっ……！」

(え？ あれ……)

同時に舌が止まり……じんわりと智子自身がいつもオナニーで嗅ぐ匂いと微妙に違った匂いが漂い始める。

弟が立ち上がり歩いている。

「はあ、はあ……やべ、手がどろどろになったか」

上半身の方に来たのだろうか。目の前に影ができて、匂いが強くなり……。

シュツ、と枕元のティッシュから紙が抜かれた。

(え？ これ……まさか精液の匂いか？ たまにアイツの部屋でしたた

よな……す、するとアイツも毎日、チンポいじってオナニーしてるのか

……)

弟のオナニーを、改めて実感して……さんざん舐め回され、何度も絶



めではない。

(ファーストキスが弟のチンポとか、脳みそ小春日和のバカップルには想像もできない領域だぜ……よし、ディープキスも試してやるか)

精液の匂いと、持ち前の妄想力で発情雌と化した智子は、既に智貴にとって己が寝ているのだということすら忘れ始めていた。

(ほ、ほら、口ちよつと開いてやるから……突っ込めよ。お姉ちゃんの口マンコ使ってみるよ……はあ、はあ……)

「あ、く、口ちよつと開いてる……」

精液まみれの肉棒が、少し開いた口を……唇をなぞり、前歯にこすりつけるようにしてきて……

(きた……はあ……はあ、すげえ、私、フェラするんだ……) 震える舌を伸ばす。

「さすがに、口の中まで入れたら、噛みつかれそうだよな……」

しかし、無情に憧れのチンポは離れてしまう。

(うわああああー！ 噛まない！ 噛まないから！ バイブで鍛えたフェラ技見せてやるから！ お姉ちゃんがを信じてファーストフェラを捧げろよ！ 女が口開けて待ってるのに！)

「とりあえず最初は顔に出すか……」

そして顔から離れた龟头。

すぐ傍でぬちやぬちやと粘液を擦る音。

(うわー、チンポ顔から離れた……って、え？ 最初は？ ま、まだやる気か……こ、こいつ絶倫……まだお姉ちゃんの顔やマンコをオカズに精液出しまくるつもりかよ。うへへっ、こ、これはちゃんと応えてやらないと……いけないよな……)

目の前でオナニーしている弟に、智子は好奇心のままうつつすらと目を開いてしまう。

(うおっ、こ、これが、あいつの……チンポか。昔見たのと違って……ムケて先がピンク色してる……それに漫画のよりでかいし……よくわか

んないけど、なかなかのイケチン……？ 精液まみれで扱いて……すごい匂い……先の割れ目が開いたり閉じたりして……いやらしい……な)

「っ……んっ……はあっ！ ねーちゃんっ！」

(あっ、先が膨らんで……うわっ！) 目の前で大量の精液がほとぼしり、智子の顔を精液まみれにしていく。顔をべつたりと精液が覆い……いくらかは口の中に入る。

「ね、ねーちゃんっ……す、すげえ……出るっ！」

(こ、こんなに出るんだ……どろどろして……うわ、口の中にも……こ、これが精液の味か……はあはあ……も、もつと口の中に出してくれてもよかったのに……鏡見れないからわかんないけど、ザーメンパツク状態だよな……うへへ……雌餓鬼どもがしてるレモンだのギョーザの皮みたいなのは違う、オトナのパツクだぜ……んおっ)

「はあ、はあ……精液まみれのねーちゃん……やらしいな……」

ぬちやつ、ぬちやつ、と顔の隅々まで塗りつけるように、顔中を弟の肉棒が這い回る。枕元で姿勢を変えることにギシギシとなるベッドが少しうるさいが……智子はそれどころではない。

(うひっ♪ 顔中を精液とチンポが……あっ、舐めたい……くそっ……オナニーもしたいなあ……けど……はあ、はあ、この顔をチンポでマッサージされる贅沢は続けたいし……またマンコ舐めてくれないかな……顔にチンポ押し付けながらも、こんなチンポエステやめられねー……お、起きないから……チンポ口に入れて、マンコも指でもいいからいじってくれよ……っ)

「はあっ、はあっ、口にも……精液はいったか……今度は口に出すかな……」

願いが通じたか、半開きになった口にぐりぐりと龟头を押し付けられる。

(出して出して！ ていうか口に入れるよー！ チンポしゃぶってみた

いんだよ！ わかれよー！)

智子は何とかフェラをさせてもらおうと舌を突き出すようにして、口元に押し付けられる龟头を、れろれろと嘗め回してみる。

「うわっ……やっぱ口に入れると何されるかわかんないな……半開きのままだし……口の中に出すだけで我慢するか……」

(な……なんで……)

しかしその後……フェラが叶うより前に、再びクンニを始めた智貴によつて、発情しきった智子は何度も絶頂させられ。そのまま失神するよう意識を失ってしまうのだった。

その後、どんな風にされ、どれだけ弟が射精したのかもわからず仕舞いになってしまった。

翌朝。

目覚めれば、精液まみれだった顔は、起きた時には少し不自然に糊を塗ったようになっていた。

ゴミ箱にザーメンティッシュはなかったが……口の中には言っていた通り大量の精液の味と残滓がまだ残っていて。

大量の愛液と、弟の唾液で股間はかわききっておらず。シートも濡れそぼったままである。

(………夢じゃなかった)

ぐじゅぐじゅ、じゅぼっじゅぼっ。

精液の味で染まった唾液をうがいするようにし、口の中を隅々まで舌でほじるように舐めて。精液の味を満喫してから……。

「……よし。今日はバイブ口に啐えたまま寝たフリして待つてみるか。あと、あいつの部屋のザーメンティッシュも調べてみないとな。私の部屋には昨日拭いた分は捨てていかなかったいだし……んへっ……ほあっ♪ うへへっ……ち、チンポ……弟チンポ……っ」

口の中の精液を独り言と共に味わいながら。

妄想のイケメンではない……弟の、智樹の顔を思い浮かべながら。黒木智子はいっつになく激しい指使いで、朝のオナニを開始した。

なんだこれ作文と、
それにセミの抜け殻…？

あー…
懐かしいなこれ
あの時確か弟…



その、おしっこ
行きたい…の

お、おしっ…!?

小便行きたい
とか言い出して…

お姉ちゃん
待ってー

んあ？

せつかく遊びに
外に出たのに

あー
お姉ちゃん



ふえへへ
ここでしちゃいなよ

えっ：
こんな、外でなんて

あっ♡

お姉ちゃんか
手伝ってあげるから

ちよ、お姉ちゃん
まだ終わってないっ

やばいっ智貴：
私、我慢できないや

んもう、
お姉ちゃん…

終わったから、
来て…

あつ…入ってくる
お姉ちゃんが
肛内に入るのわかる

智貴の中、
締め付けてきて
良いよ…っ♡

ああ…やばい、
コリコリしてるのっ
亀頭に当たってるっ

や、お姉ちゃん
そこ…
気持ちよすぎるよお

は、んあつ…いくよ、
イクよ智樹い…っ!!

アツ♡
ンアアツ♡



おおおっ……♡
出る、射精るううううっ!!

すっご射精てるう♡

おおおおおっん♡♡



おいコラ

げっ!?!
とは、げ…

これは、その…

最初以外
捏造じゃねえか!!

くそ、
人の作文汚しやがって…

おしまい



…あ、あの
智くん…？



ほら
ねーちゃん
行くぞ



なんだよ
ヤリマンの
ビッチに
なりたいんだろ？

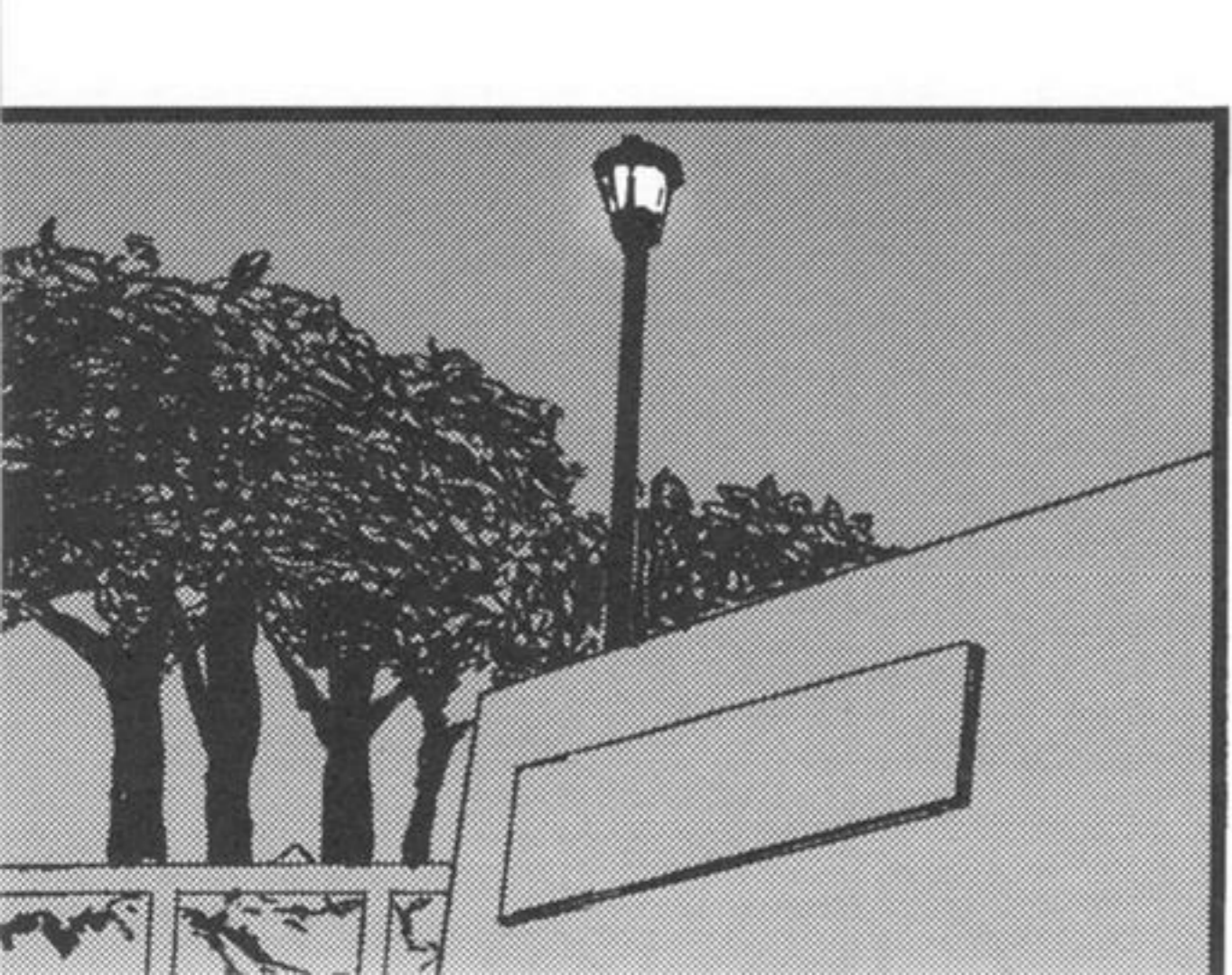
…でも
こんなバカみたい
な格好しなくても…



…お姉ちゃん
このカツコ…

…ちよつと
恥ずかしいん
だけども…

モテないし 弟に調教される



ビッチつつつたら
そういう格好
だろうが

ウチの弟がこんな
変態とは…

その砂場で
股おっぴろげて
ピースしながら
オナニー
しろよ

旦那ってでかけるから

うえ!?

いつも鏡の前で
してるみたいよ
やってみろよ

なっ!?

…見てたの?

…こ、こうかな…?
えへへ…
…いいえ…

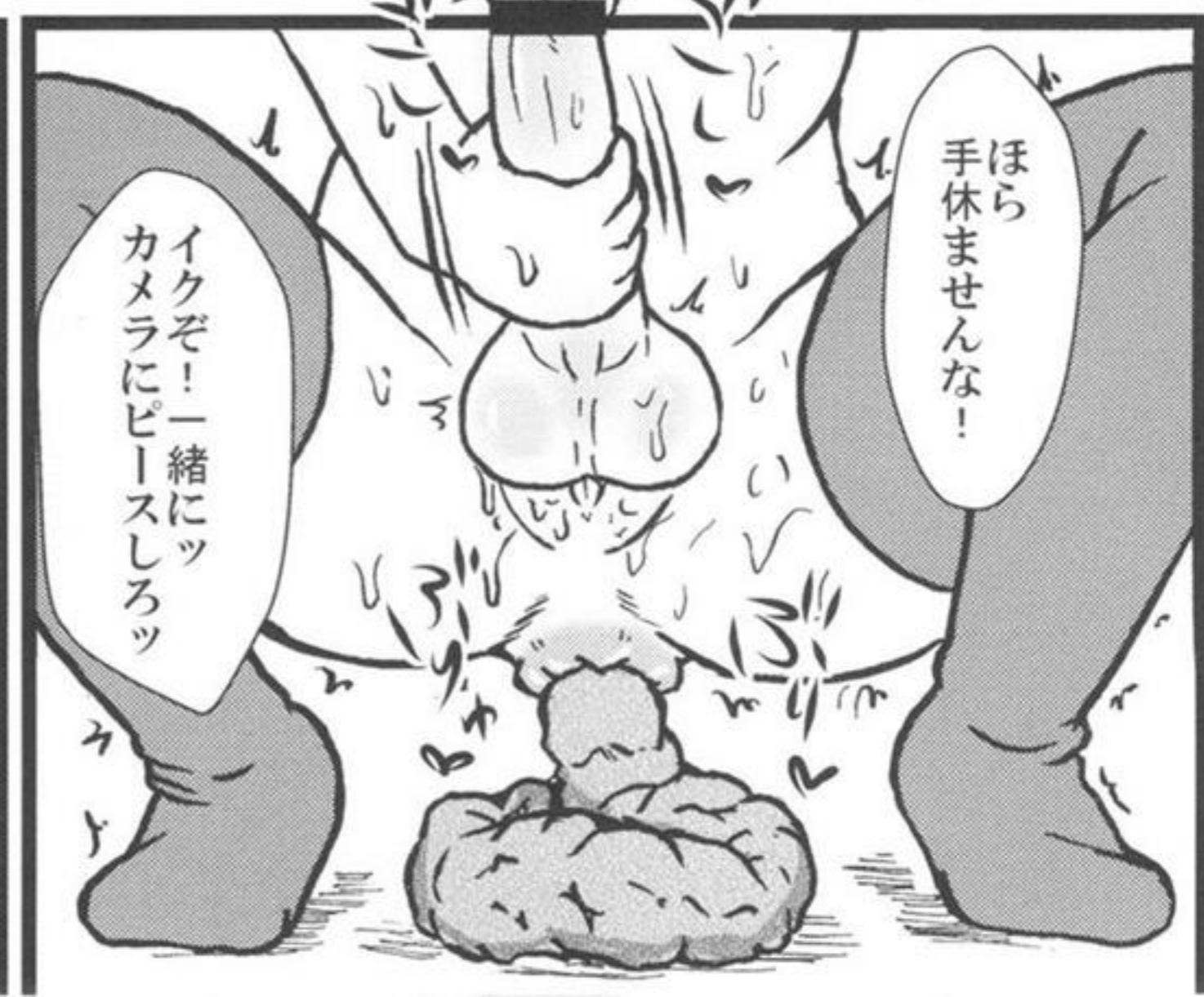
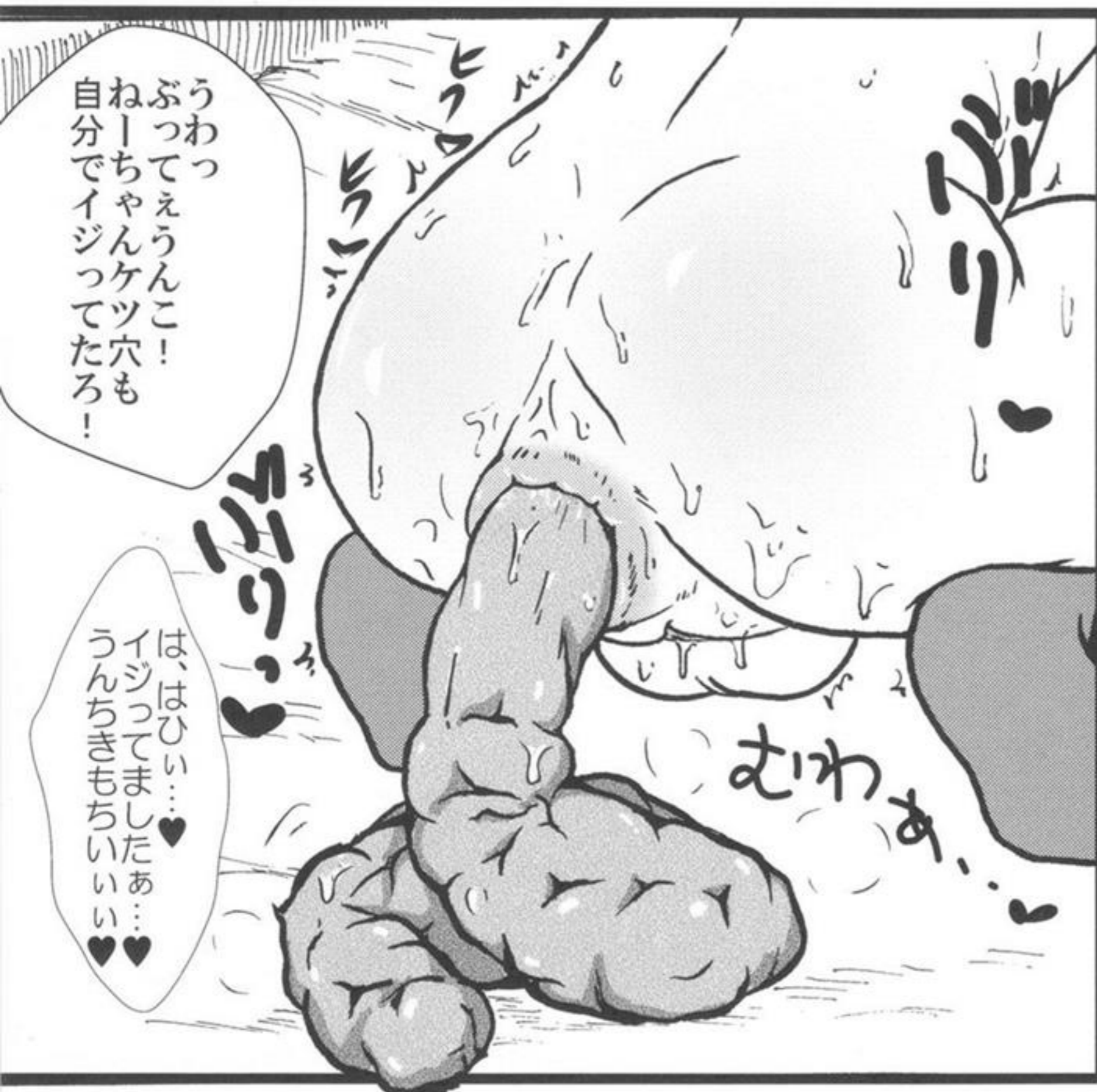
誰かに見られちゃう
誰かに見られちゃう

いいいい
ツかないじゃん
チつかほいぞ

俺も
一緒に
してやっから

や…それは
さすがに…

そうだ
うんこしながら
オナニーしてみ?





しねえよ
出てけ

ゆるせよー!!

…みたいなコト
してあげるからー

これネットに
流せば明日から
やりまくりだぜ
ねーちゃん

よし
いい映像が
撮れた

どろお

うん…
ありがとお…
智くん…♡

むわあ…♡

よろよろ
おとろえ...

ドキ

ドキ

しびん

おっぴん

な...

何のマネだ...

モテないしくぱあする
星野小鳩

ドキ

姉の威厳を
取り戻そうと
思ってたなフッフ

ドキ

やばい…
今回マジで
犯されるかも

く
い
お
あ

ヒッ

ヒッ

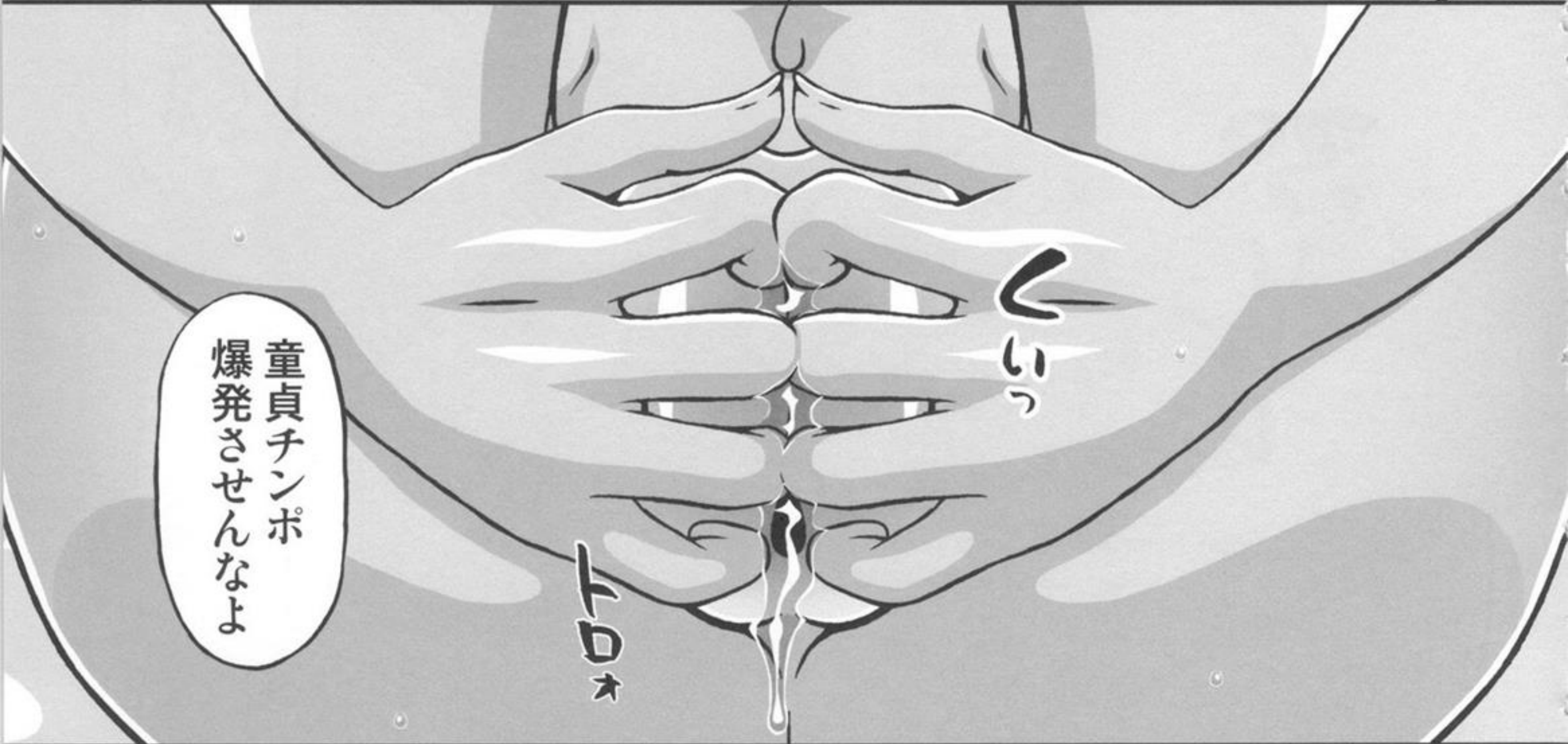
どうだ？
大好きな
お姉ちゃんの
オマ○コ



今から
女体の神秘を
見せ付けてやる

くはっ

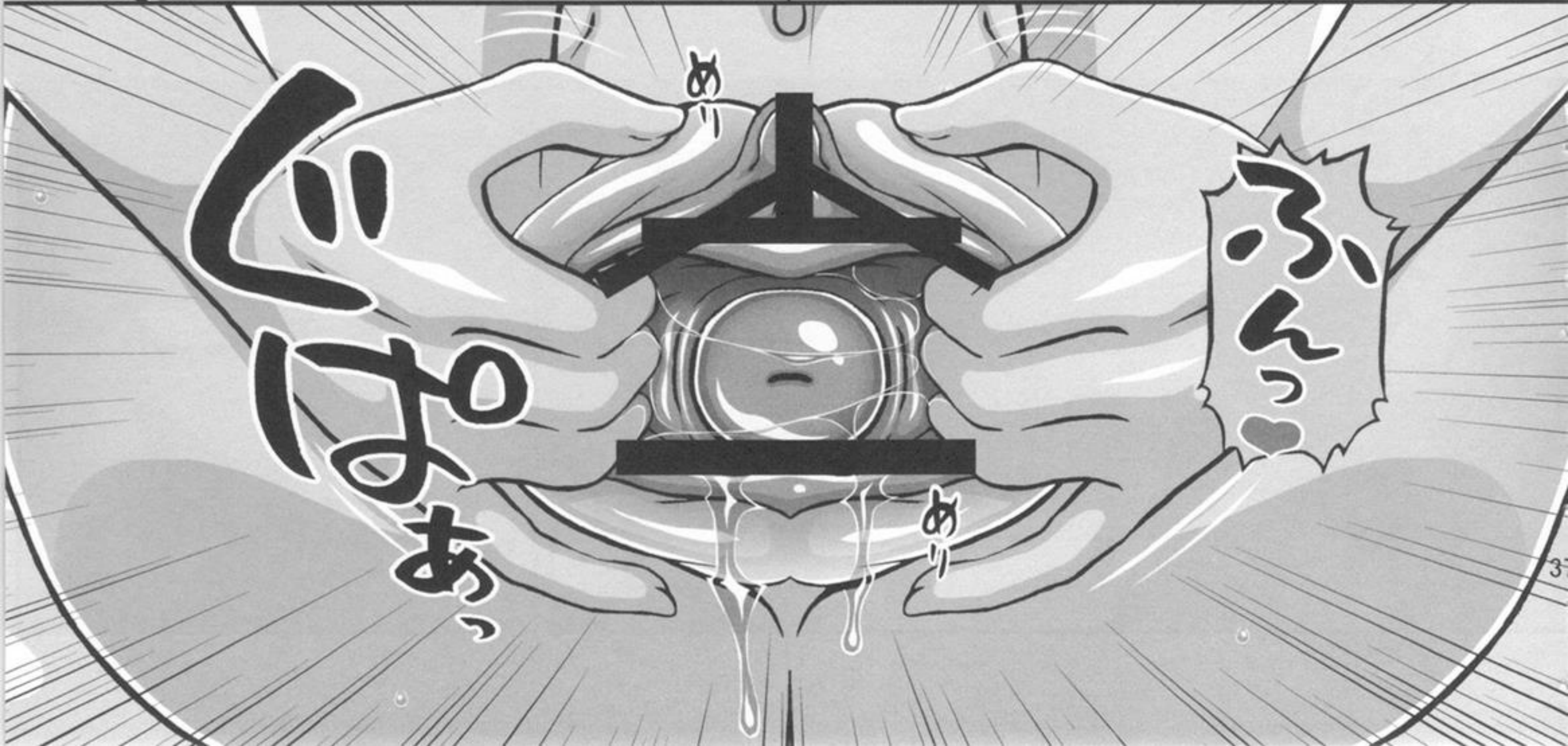
くはっ



童貞チンポ
爆発させんなよ

くっ

ドロ★



ふんっ

くはっ

めー

めー



私…弟と一線
越える覚悟…
出来てるから…

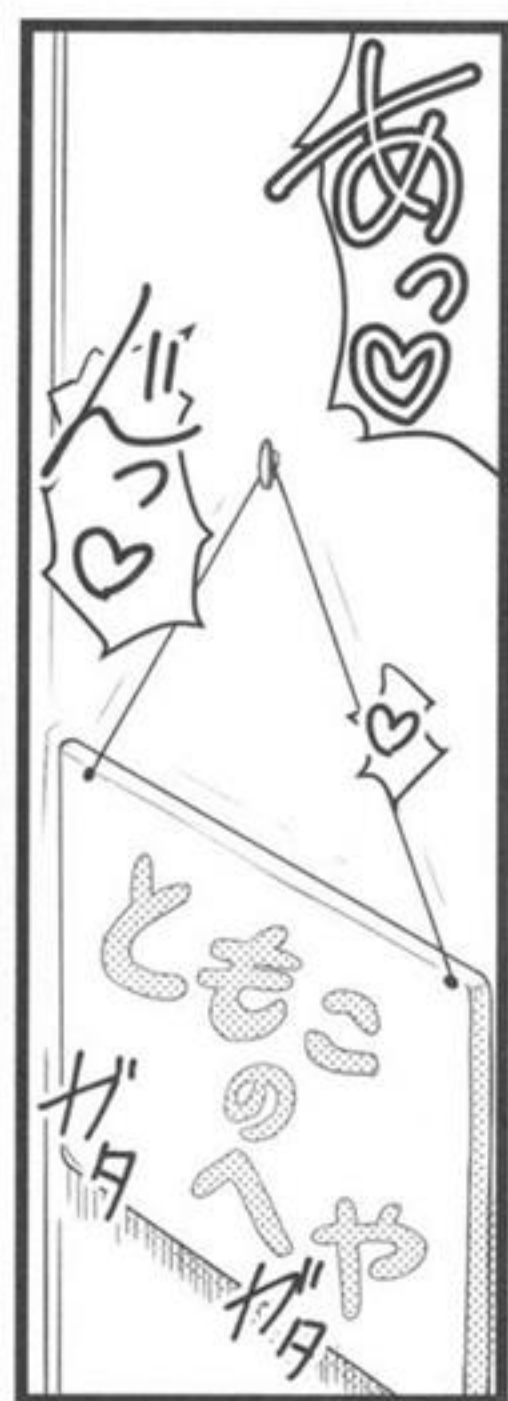
こっこれが
子宮口だよ

ふ
い
ゅ
ん



そっ…そんなにか
そんなになのか…

モテないし弟で処女全部喪失する 暁 勝家









あれから
快樂のままに

身体を
弄りまくって
しまった...

ちよつと
自分でもヒクぐらい
やっっちゃったけど...

ま...
まあ
バレてないよな...

バレてない...

バレてない...

ドキ

ドキ



もこっちがフェラ中エロアピ目線キマてるのはどう考えてもウザキモ可愛い

理想

現実

「俺のまっぴろげ
奥がキツク

現実

理想

実践



「おぼろげ

失敗



後餓鬼

ラヂヲヘッド初のふたなりでもショタでも巨根でもないエロ漫画、いかがでしたでしょうか。

今回ふたなりでもこっちを描かなかったことについて、苦渋の決断ではありませんでしたが、悩みはしました。従来のうちのサークルの読者を考えるとふたなり…特にハードな巨根ふたなりを期待して頂いていることは分かっていたので、今までほとんど描いたことすらないというノーマルなセックスで一冊作ることで、期待を裏切りはしないだろうか。

しかし前前作「私がモテないのはどう考えてもコイツが悪い！」を描いて湧き上がったのは、もこっちと童貞ネタは相性が良すぎるがゆえに、ふたなりにした時に容易に喪女ではなく喪男になってしまい、原作のもこっち的良さをある一定の深さ以上掘り下げきれないということ、そしてやはりもこっちで恋愛させるなら、相手はどんなキャラよりもまず弟・智貴で描いてみたいという思いでした。折しも原作「喪35:モテないし弟を気遣う」が公開され、本気ではないにしろ(というか自分のやってることの意味を理解してないだけけど)「弟を誘惑するもこっち」の姿が明確に提示されたこともあり、そこから素直に分岐させる形でこうして短時間でまとめることができました。

実際今回は、当サークル初の抱き枕カバー製作となる「ふたなり小悪魔メイドコスもこっち抱き枕カバー」の製作に前後していたため、製作期間が一ヶ月なく、そのためかなり駆け足で流した部分、妥協した部分もあります。恐らく今後も私モテで本を製作する機会があると思いますが、その際には今回掘り下げ切れなかった姉弟の心の絡みや、あるいは本来の当サークルの色に近い、より変態的な関係へと進化した二人を描ければと思っています。ダメ姉もこっちの排泄管理する弟とか、スカトロ展開はやりたいですね！あと、前前作のふたなりもこっちの方向性でもまたなにか描ければと思います。やっぱりちんぽついてると嬉しいですしね。

それでは、また次の本でお会いしましょう。
今回は最後まで正気を保ったラヂヲヘッドでした。

2013.8.4

謝辞

ちもさくさん、すた一きーさん、暁勝家さん、つなむしさん、星野小鳩さん、浜原義雄さん、夕餉さん、ご多忙中ご参加して下さい本当にありがとうございました。タイトなスケジュールで苦しい製作を続ける中で、ゲストの皆様の素晴らしい玉稿を受け取るたびに多くの励ましと力をいただきました。

タイトルロゴの製作にとどまらず、直接家にまで来て写植やレイアウトを引き受けてくださった新技かけるさん、いつものようにオンラインで塗り作業と背景を快く引き受けてくださった神尾96さん、締め切り直前に難易度の高い背景アシを申し出てくださいました照山紅葉さん、御三方の救援がなければこの本の発行は多いに遅れていたことと思います。今回も本当にありがとうございました。おかげで良い本が完成いたしました。

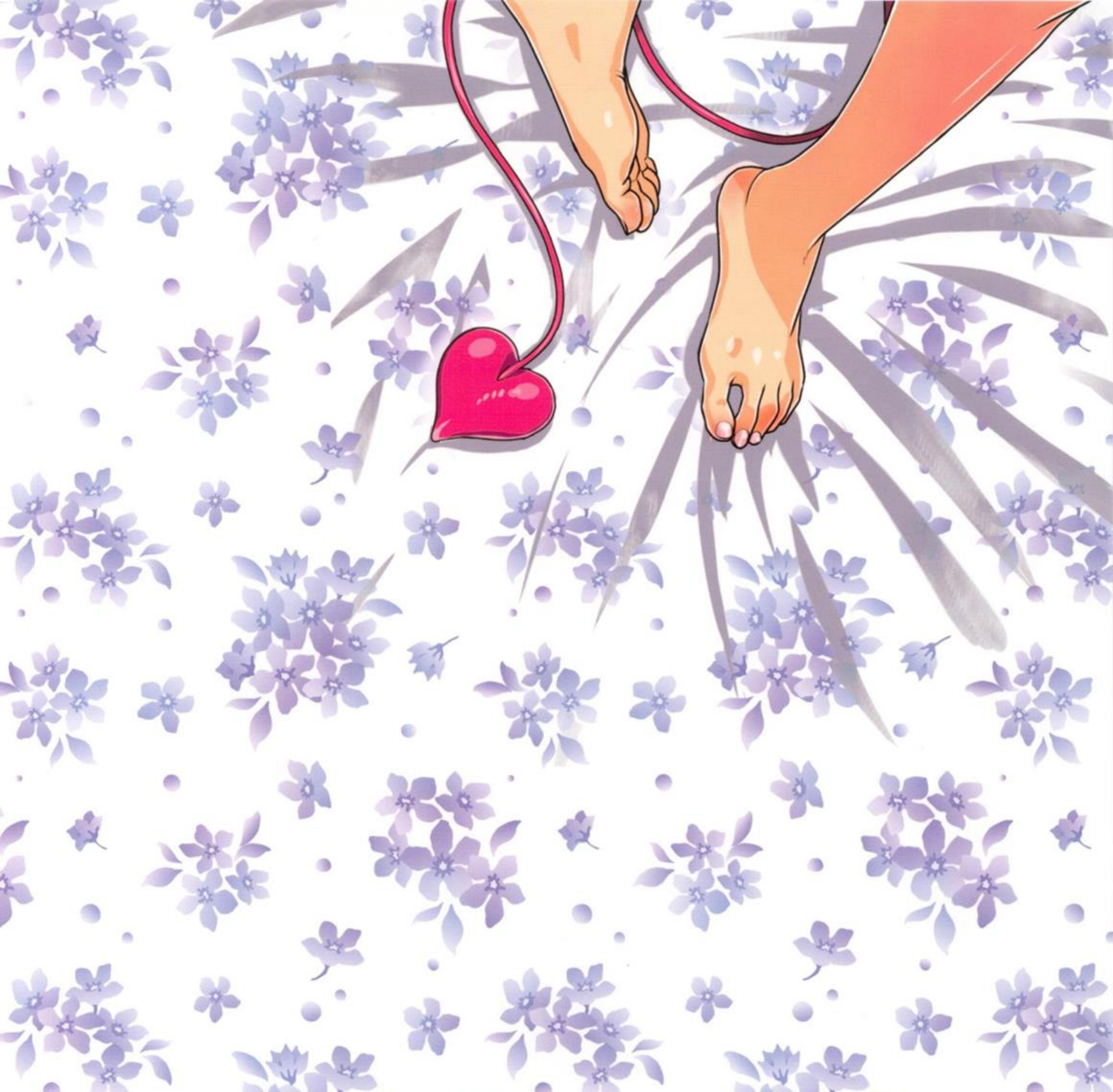
そしてこの本を手にとっている読者の皆様、私モテともこっちを愛する皆様に両手いっぱいの祝福を。

2013.8.4
ラヂヲヘッド
革命政府広報室

奥付

発行:革命政府広報室
発行者:ラヂヲヘッド
発行日:2013.8.11
印刷所:PICO

連絡先:parano@jcom.home.ne.jp
PIXIV:<http://pixiv.me/radiohead>
URL:<http://www.radio.sakura.ne.jp/>
Twitter:@Radio_paranoia



私がビッチに
なったのはどう考えても
弟が悪い!!